

2024年3月期 第1四半期決算説明資料 トレーダースホールディングス株式会社

証券コード：8704
2023年8月14日



金融を、もっと面白く。

2023年7月1日より有吉弘行さんを新CMに起用！
8月以降も引き続き放映予定！

金融を、もっと面白く。



みんなが
使ってるFX？

…みんなって誰だよ



FXといえば、
みんなの
FX

CM公開中 



- 01 2024年3月期 第1四半期業績ハイライト**
- 02 2024年3月期決算 業績予想**
- 03 業績予想達成に向けた2024年3月期の施策進捗**
- 05 株主還元**
- 06 Appendix**

金融を、もっと面白く。

Traders

2024年3月期 第1四半期 業績ハイライト

2024年3月期第1四半期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



効率的なマーケティング活動により、預り資産を着実に伸ばしながら
FX取引の需要増加を確実に捉え、前年同期比で**大幅な増収増益を実現**
営業利益は**第1四半期としては過去最高益** 営業利益率は**50%を超える**

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月 第1四半期	前年同期比
営業収益	2,397 百万円	2,840 百万円	+18.5%
営業利益	1,108 百万円	1,593 百万円	+43.8%

2024年3月期 第1四半期トピックス

金融を、もっと面白く。



営業収益

28 億円

前年同期比

+ 4 億円

- ✓ ドル円相場のボラティリティは前年同期に比べ低下したものの、預り資産の大幅続伸が営業収益拡大に寄与。四半期ベースで過去最高収益を記録
新興国通貨取引でもトルコリラ乱高下時において収益積み増し

取引関係費

3.3 億円

前年同期比

▲ 2.3 億円

- ✓ 大手検索サイトにおけるFX関連Web検索で「みんなのFX」「LIGHT FX」ともに上位掲載率を上昇させ、申込者数増加
LIGHT FXの広告代理店変更により広告費削減

営業利益率

56.1 %

前年同期比

+ 9.9 %

- ✓ 変動費が少ない損益構造のため、営業収益の増加により高い営業利益率を維持
当四半期は広告宣伝費の構造変化により取引関係費が減少。
販管費全体では対前年同期比微減、営業収益は過去最高の収益となり、営業利益率は大きく続伸し過去最高を記録

預り資産残高

911 億円 (2023年7月末時点)

前期末比

+ 107 億円

- ✓ 各キャンペーンや新商品「LIGHTペア」、新規通貨ペア「ハンガリーフォリント/円」の追加等の施策が奏功し、四半期ベースで過去最高の預り資産の伸びを記録
- ✓ グループ目標の預り資産1,000億円台達成に向けて想定を上回る進捗

四半期連結業績

金融を、もっと面白く。



前年同期比で営業収益は18.5%増

営業利益、経常利益は前年同期比で40%以上増加し、四半期純利益に関しても37.9%増加

(単位：百万円)	2023年3月期				2024年3月期	前年同期比 (1Q)
	1Q (2022年4-6月)	2Q (2022年7-9月)	3Q (2022年10-12月)	4Q (2023年1-3月)	1Q (2023年4-6月)	
営業収益	2,397	2,021	2,317	2,458	2,840	+18.5%
営業利益 (利益率)	1,108 (46.2%)	676 (33.5%)	952 (41.1%)	1,004 (40.9%)	1,593 (56.1%)	+43.8%
経常利益 (利益率)	1,102 (46.0%)	670 (33.2%)	957 (41.3%)	1,000 (40.7%)	1,582 (55.7%)	+43.5%
四半期純利益 (利益率)	951 (39.7%)	540 (26.7%)	727 (31.4%)	998 (40.6%)	1,312 (46.2%)	+37.9%

四半期連結業績進捗率

金融を、もっと面白く。

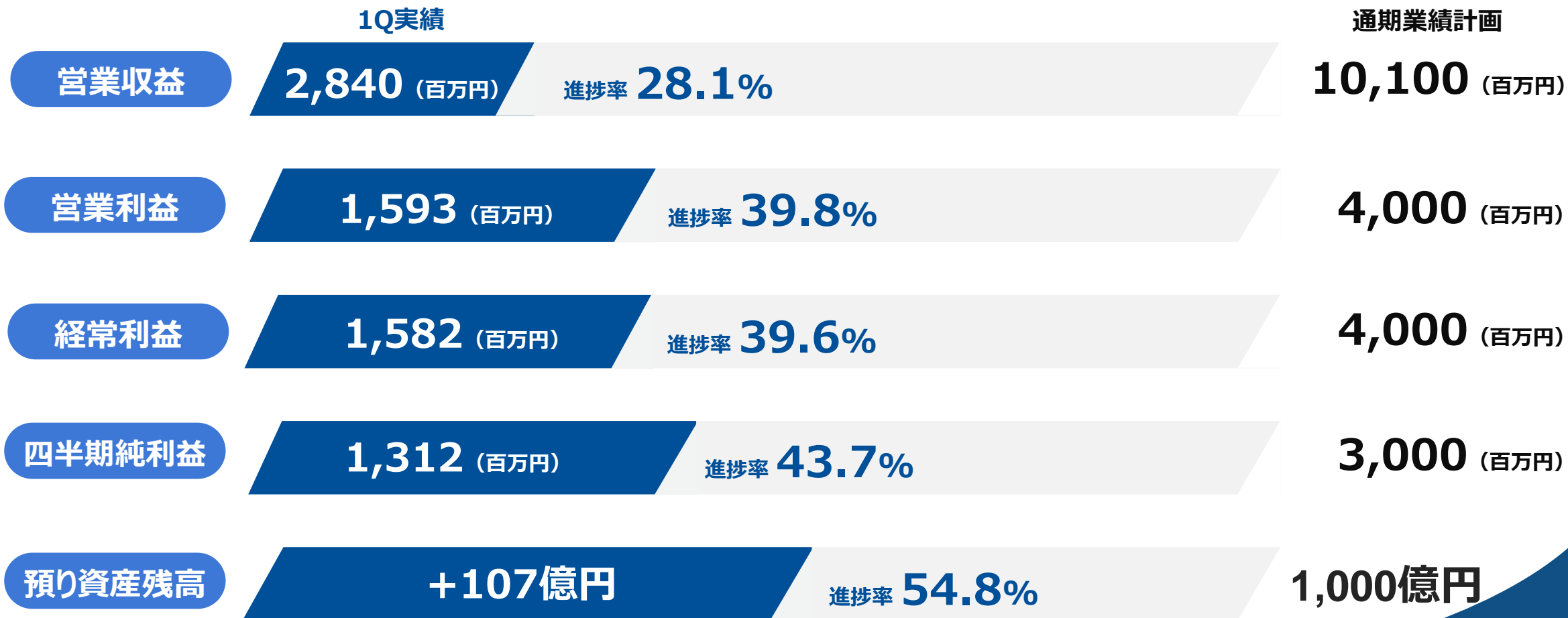


営業収益は28.1% 営業利益、経常利益、四半期純利益に関しては約40%と高い進捗率となった

預り資産についても目標達成までの進捗率は7月末時点で55.8%と好調に進捗 期初発表の通期業績計画は据え置き

2024年3月期

通期業績計画



2023年3月末
803億円

2023年7月末
911億円

四半期業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。

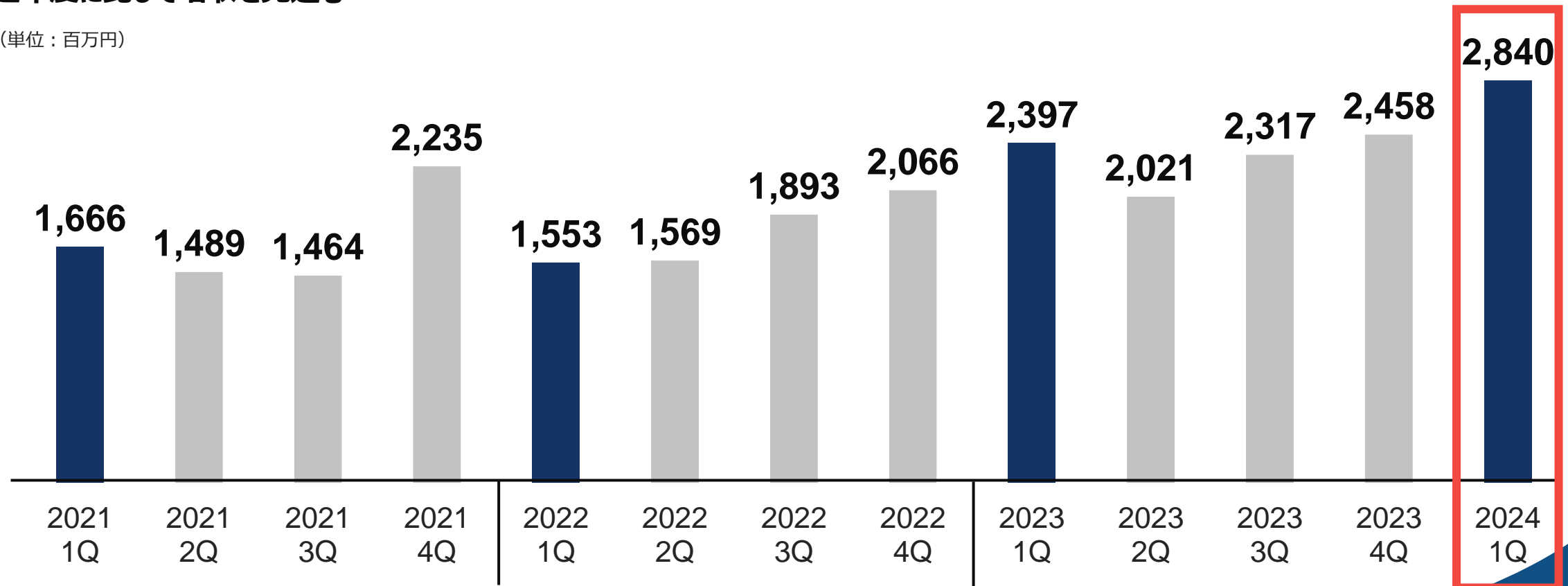


当第1四半期は、**四半期ベースで過去最高の営業収益を記録**

当社の収益は相場環境に大きく影響を受け、年毎に収益を大きく獲得する四半期に違いが生じる

土台となる預り資産が増加しているため営業収益は増加傾向にあり、今後も預り資産を積み上げていくことにより、過年度に比して増収を見込む

(単位：百万円)



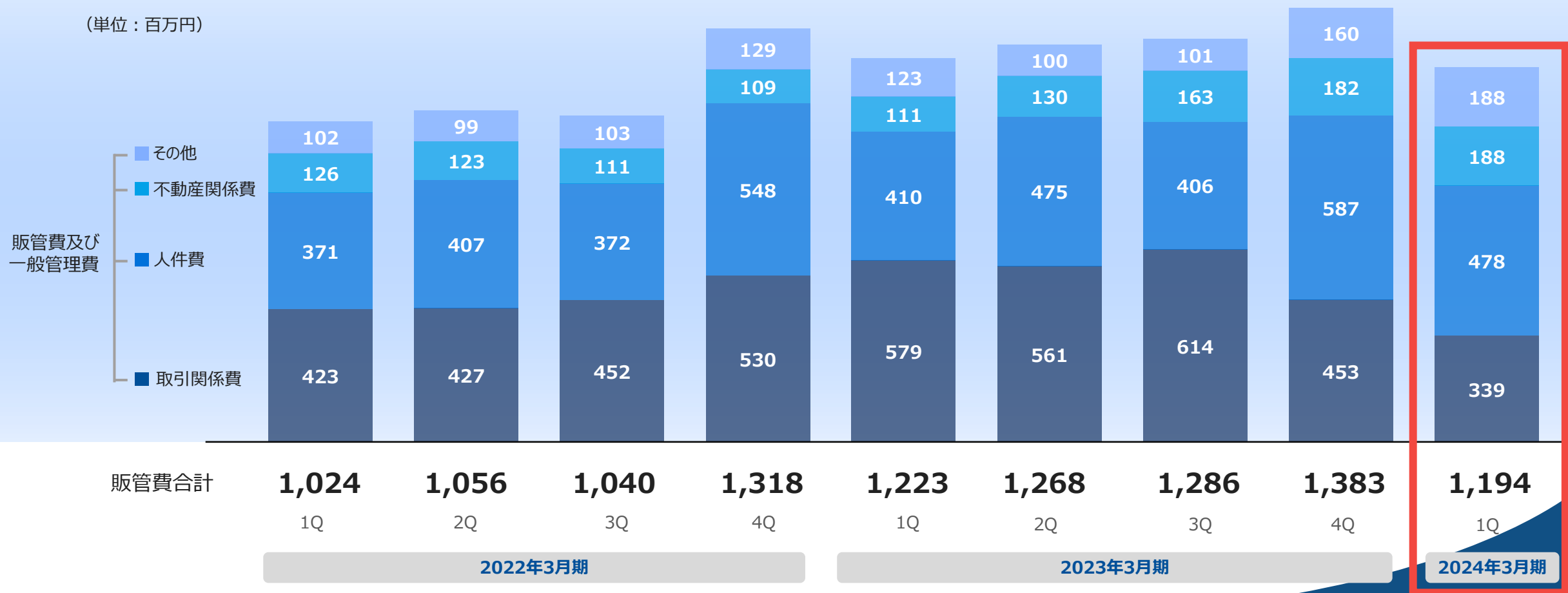
販管費の四半期推移

金融を、もっと面白く。



事業の拡大に伴い販管費は増加傾向にあるが、広告宣伝費の構造変化により取引関係費は減少
7月1日に開始されたCM関連の費用は第2四半期以降に計上される予定

(単位：百万円)



四半期ごとの預り資産推移

金融を、もっと面白く。

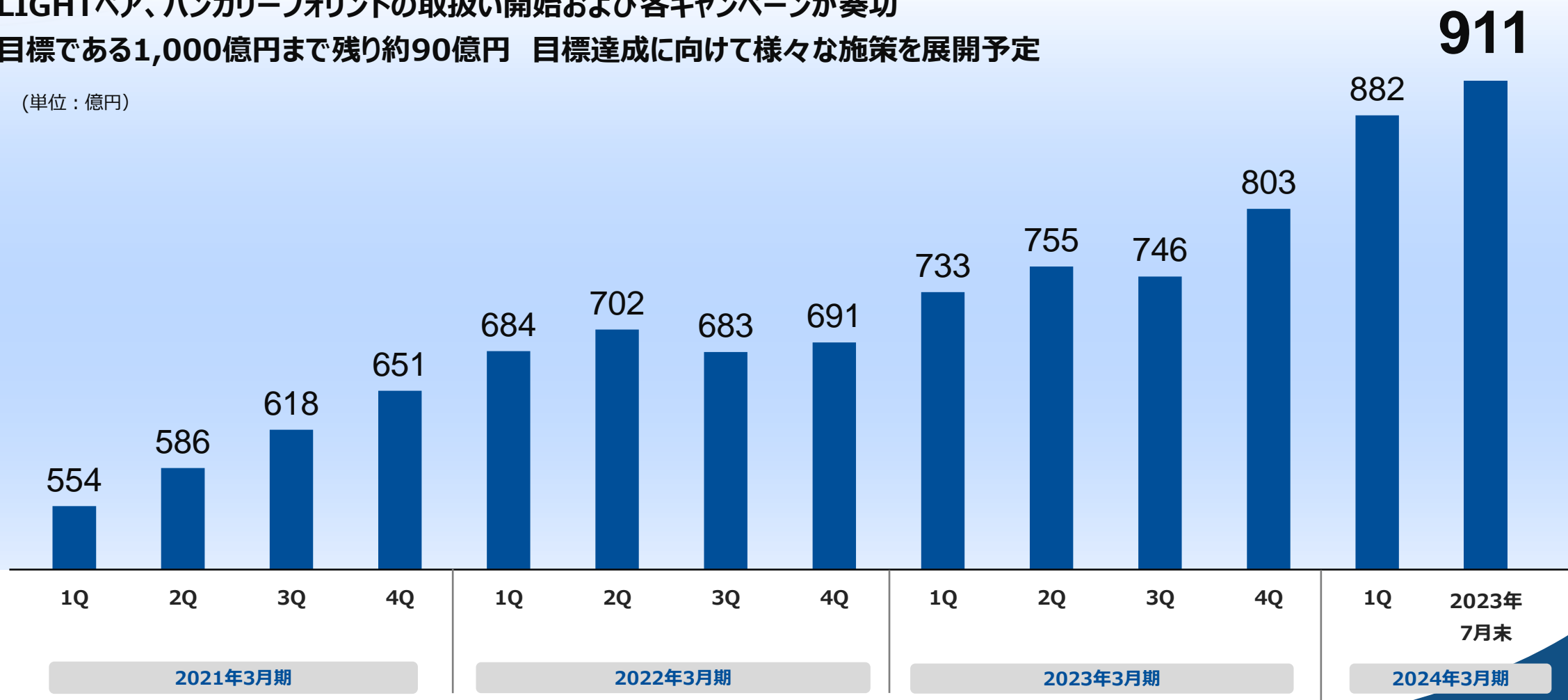


預り資産は順調に進捗 7月末時点で前期末比 **107億円の増加**

LIGHTペア、ハンガリーフォロントの取扱い開始および各キャンペーンが奏功

目標である1,000億円まで残り約90億円 目標達成に向けて様々な施策を展開予定

(単位：億円)

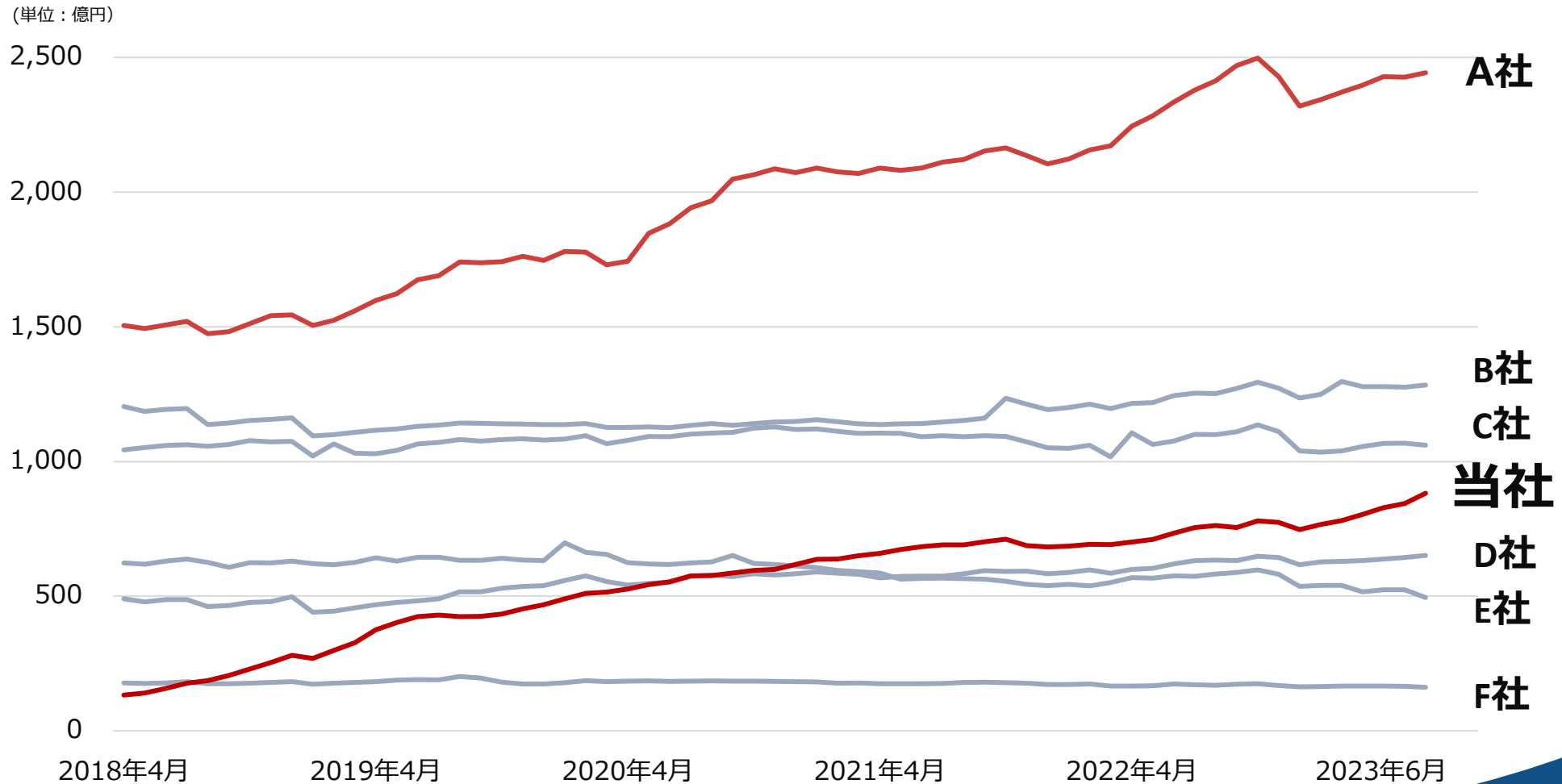


預り資産の推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 預り資産の増加は当期に入り加速、年度末目標の1,000億円台への到達は射程圏内
- ✓ 2018年3月末を基点とした預り資産の増加率では当社が最も高い（増加率約700%）



2024年3月期第1四半期 市況概況①

金融を、もっと面白く。



USDJPY (日足チャート)



市況概況

第1四半期では、日銀の量的緩和継続と米国FRB議長による利上げへの言及等の影響により、3か月でドル円相場は130円台から145円へ上昇し、前年同期と同様に大きく変動。

2024年3月期 市況概況②

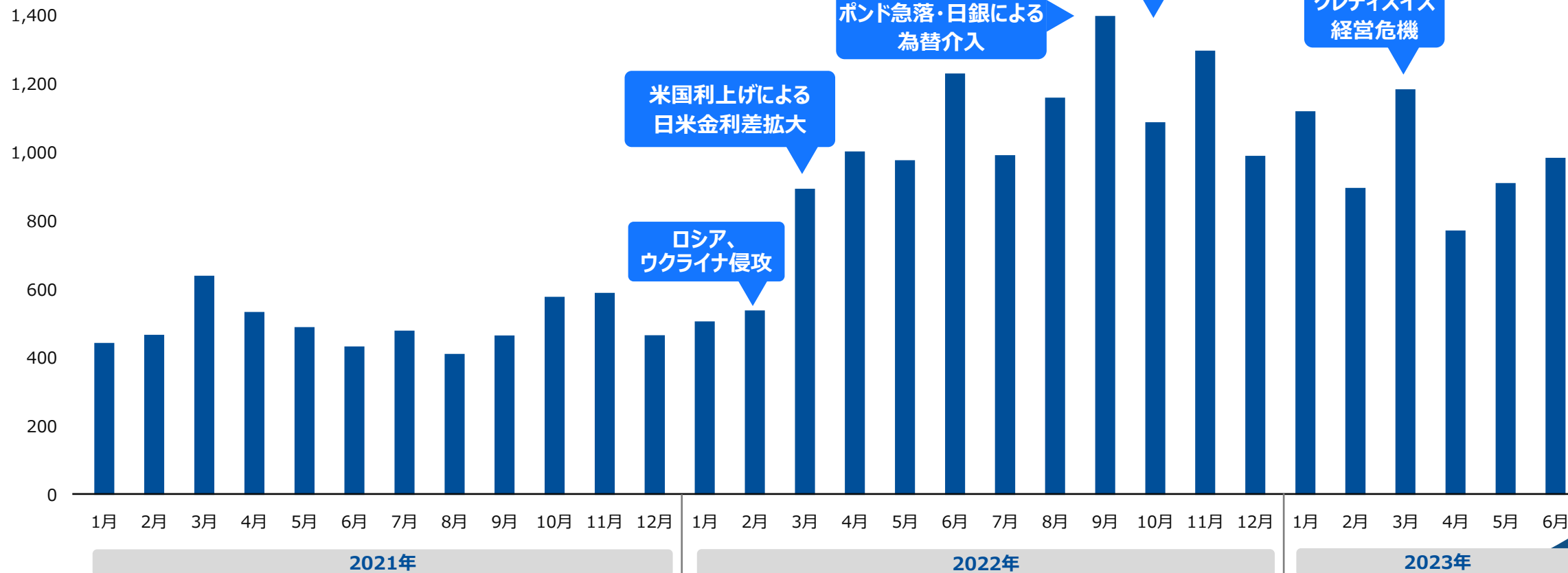
金融を、もっと面白く。



引き続き市場環境は活況が続く

店頭FX取引額の状況（国内）

(単位：兆円)



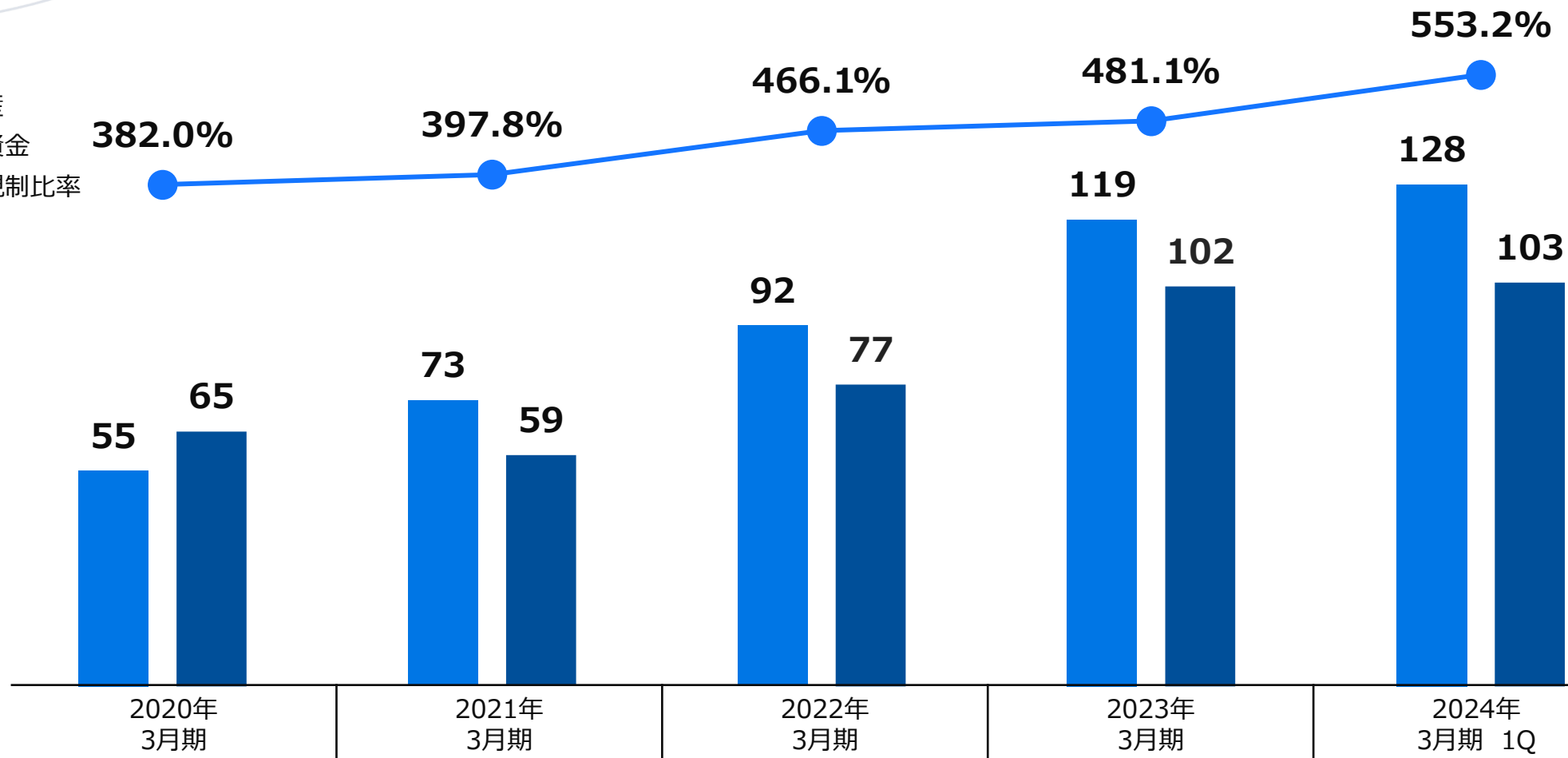
出典：一般 社団法人金融先物取引業協会

連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

引き続き事業規模の成長とともに純資産、自己資金も順調に増加 安全性維持

(単位：億円)

- 連結純資産
- 連結自己資金
- 自己資本規制比率



(注) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄へ選定！

金融を、もっと面白く。



資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「**投資者にとって投資魅力の高い会社**」が採用される「JPX日経中小型指数」に選定されました（2023年8月31日に指数へ組み入れ予定）

□ JPX日経中小型株指数とは

- ✓ JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が算出する中小型株の動向を示す日本株指数
- ✓ 東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の対象銘柄の中から、定量的な指標のスコアリングに加え、定性的な要素を加えた基準で行われ、上位200銘柄が選定
- ✓ 2023年8月7日発表の定期入れ替えで新たに追加された1銘柄として当社が選定
- ✓ 2023年選定銘柄はプライム市場177社、スタンダード市場12社、グロース市場11社と圧倒的にプライム市場上場企業が多い中での選定となった

金融を、もっと面白く。



2024年3月期決算 業績予想

2024年3月期 業績予想

金融を、もっと面白く。



2024年3月期の通期業績予想は据え置き

- ✓ 第1四半期での進捗は好調であるが、通期業績予想は第2四半期以降の状況を考慮し、現時点では据え置きとする
- ✓ 営業収益のベースであり、かつ営業努力による積み上げが可能な預り資産の目標達成については順調に推移

(単位：百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)	増減
営業収益	9,194	10,100	+ 905
営業利益	3,742	4,000	+ 257
経常利益	3,730	4,000	+ 269
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,217	3,000	▲ 217
預り資産	803億円	1,000億円	+ 197億円

金融を、もっと面白く。

Traders

業績予想達成に向けた2024年3月期の施策

2024年3月期の取り組み

- FX初心者に向けたサービスの充実化を推進
- ✓ 新通貨ハンガリーフォリント/円・新規商品LIGHTペアを導入
- 円キャリー取引が活況な市場環境を捉え、顧客ニーズとマッチ



既存領域

LIGHT FX



業界最高水準の
スワップ!

みなかぶFX年間ランキングスワップ部門
3年連続第1位

USD/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	2500円
米ドル/円 LIGHT	2500円
GBP/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	3000円
ポンド/円 LIGHT	3000円
MXN/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	300円
メキシコペソ/円 LIGHT	300円
ZAR/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	200円
南アランド/円 LIGHT	200円
TRY/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	500円
トルコリラ/円 LIGHT	500円

+

新サービス

2023年3月20日開始



ハンガリーフォリント/円リリース記念
150万円
山分けキャンペーン!!

キャンペーン期間 2023.03.20(月)~2023.05.12(木)

2023年6月24日開始



スワップ&スプレッド強化
LIGHTペア

米ドル/円をはじめ
メキシコペソ/円 南アランド/円 などの高金利通貨まで
全10通貨ペアで登場!

初めての取引はLIGHTペア!

- 大きな資金を必要とせず、また中長期での投資志向の方々に向けた商品を導入
- 若年層やFX初心者の方々のニーズにもマッチ

2024年3月期の取り組み①

金融を、もっと面白く。



» LIGHTペアを2023年6月24日より取引開始

- ✓ LIGHTFXにおいて、通常の通貨ペアよりもさらにスプレッドを縮小させた新しい通貨ペアの取扱いを開始
高スワップ戦略の主軸サービスとなり中長期投資を目的とした新規顧客を獲得
- ✓ 通常銘柄に比べて取引上限が制限される代わりに、通常銘柄よりもスワップポイント・スプレッドが強化
- ✓ 大きな資金を必要とせず、初心者の方が始めやすい商品
- ✓ スワップポイントが業界でも頭一つ抜けている状況かつ、円キャリー取引がしやすい現状とあいまって、市場環境とマッチ預り資産の積み上げに寄与

2023/06/26取引開始
スワップ&スプレッド強化
LIGHTペア
米ドル/円をはじめ
メキシコペソ/円 南アランド/円 などの高金利通貨 まで
全10通貨ペアで登場！
初めての取引ならLIGHTペア！

2024年3月期の取り組み②

金融を、もっと面白く。



» 2023年3月20日より「ハンガリーフォリント/円」の通貨ペアを新たにリリース

- ✓ 政策金利13.00%（2023年7月時点）と高水準
- ✓ 円キャリー取引が活況な状況とシナジー効果を生み、スワップポイントを狙った顧客層に好評
- ✓ メディア媒体で取り上げられたことも奏功し、取引高も増加



2024年3月期の取り組み③

金融を、もっと面白く。



▶ 有吉弘行さんを新CMに起用！認知度向上に向け、7月より全国エリアにて放送を開始！



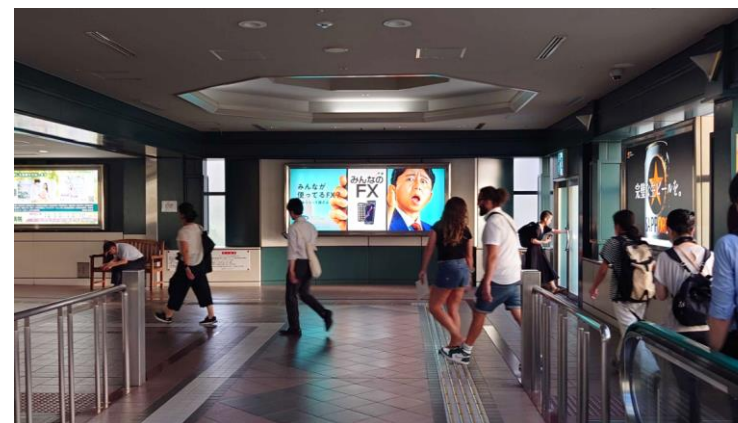
渋谷駅前

1日約200万人以上が乗り降りする渋谷駅の八公前交差点の目の前の大型ビジョンで放映待ち合わせスポットからもはっきりと見ることができ、訴求効果大



恵比寿スカイウォーク

恵比寿駅から当社オフィスのあるガーデンプレイスへ繋がる恵比寿スカイウォーク内に看板を掲示



2024年3月期の取り組み④

金融を、もっと面白く。



2023年7月31日にCVCファンドから第一号案件への出資を行う

□ 出資先：ドクターズ株式会社

- ✓ デジタルヘルス開発を総合支援するサービス「Doctors Cloud®」、
医師のための医療DX・デジタルヘルス総合支援サービス「Doctors Next®」、
医療連携型オンライン医療支援サービス「Doctors Station®」を提供
- ✓ 社会課題の解決に取り組むドクターズへの出資を通じて、
「医療」×「テクノロジー」×「金融」という仕組みの構築に向けて共創
- ✓ 当社グループのお客様へドクターズによるオンライン医療サービスを提供することも視野に

金融を、もっと面白く。



資本政策

自社株買いの方針について

金融を、もっと面白く。



- ✓ ストックオプションおよび譲渡制限付き株式報酬への充当を目的として2期連続の自社株買いを実施
- ✓ 今後も経営環境に応じ、機動的に資本政策を遂行予定

- 自己株式取得数
- 自己株式取得金額
- 自己株式処分数

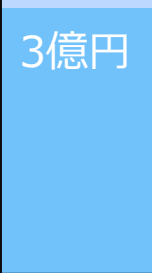
自己株式取得数
および取得金額



792,700株



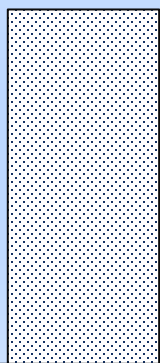
3億円



2023年3月期

取得株式数
未定

(上限1,000,000株)



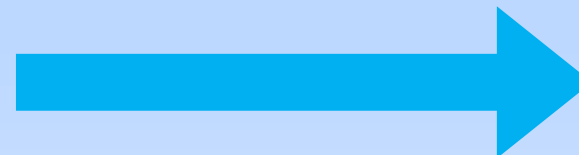
4億円



248,700株
(譲渡制限付株式報酬)

2024年3月期

引き続き、自己株式処分数や経営環境に応じ
自社株買い等の資本政策の実施を検討



自己株式処分数
(ストックオプションおよび
譲渡制限付株式報酬)

ストックオプションについて

金融を、もっと面白く。



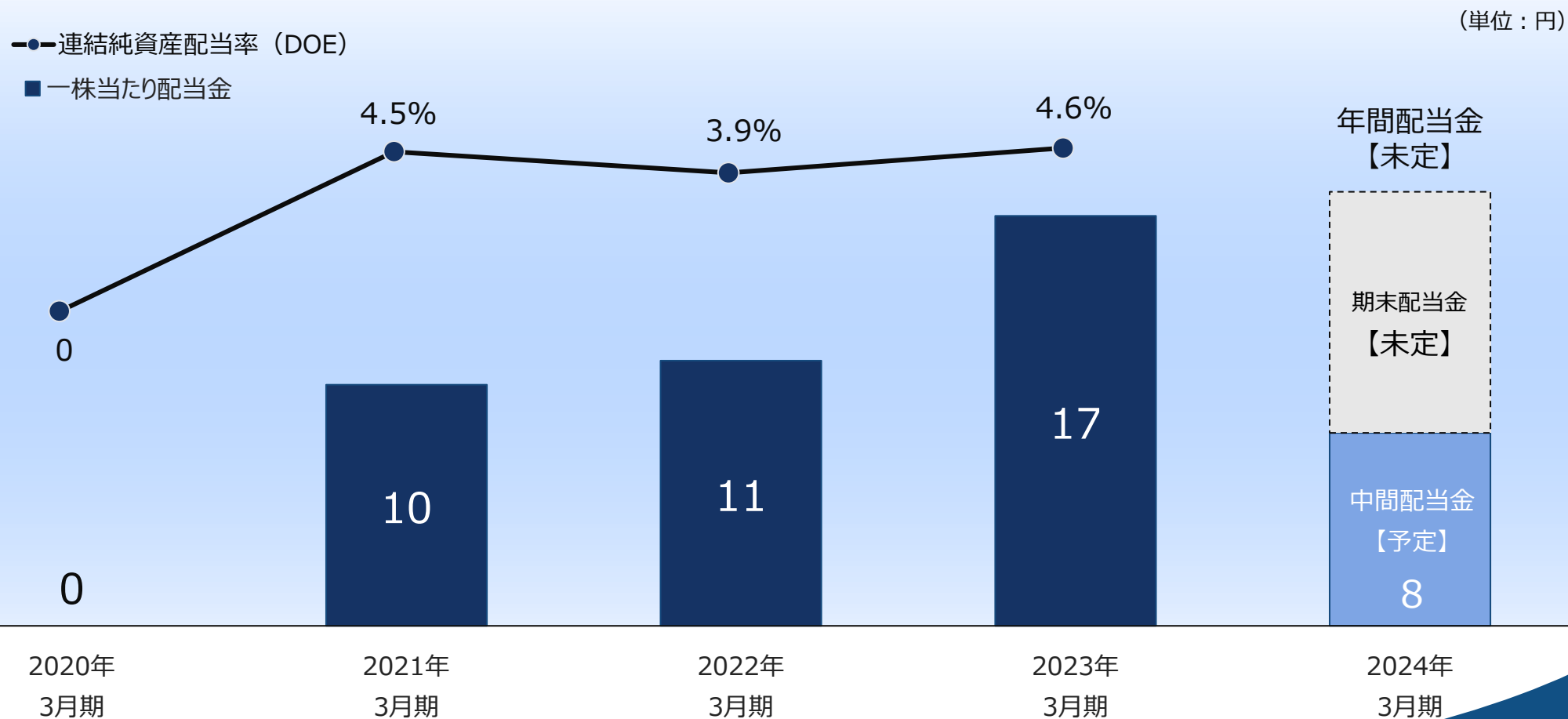
- ✓ 持続的な成長を確固たるものとするため、グループ役職員が長期にわたって当社グループの成長に貢献する意欲を高め、かつ、優秀な外部人材の獲得を強化するための施策として導入
- ✓ 今後も新規入社する社員および昇格者に対して持続的に付与することにより、グループ役職員のロイヤリティーおよびモチベーションを高め、全員が株価を持続的に高めることを意識して業務を遂行
- ✓ 行使により交付する株式は新規発行せず、自己株式を充当し成長投資として活用する方針

ストックオプション（新株予約権）の概要

新株予約権数	10,841個（1個につき100株）
権利行使価格	626円（2023年7月18日当社終値）
行使期間	2025年7月20日から2033年7月19日まで の間において段階的に行使可

配当実績および配当予定について

2024年3月期より中間配当を実施予定 中間配当金は一株当たり8円を予定
年間の合計配当金額についてはDOE4%を基準としつつ、経営環境等を踏まえ決定する予定
期末配当金は現時点で未定だが、通期業績の見通しが固まるタイミングで公表予定



金融を、もっと面白く。



Appendix

恵比寿ガーデンプレイスへの移転による様々な取組

金融を、もっと面白く。



ディーリングルームではメディア向けの取材を対応

カフェエリアでは早速金融セミナーの開催を行い、新オフィスの設備を有効的に活用



カフェエリア（金融を、もっと面白くするエリア）

7/20（木）に「きんゆう女子。」と女性の金融リテラシー向上のための座談会を当社オフィス「金融を、もっと面白くするエリア」にて開催。バリアフリー対応のため、ベビーカーで参加された方もおり、様々な方の参加が可能に。

ディーリングルーム

TBSニュース番組におきまして当社ディーリングルームの取材をいただきました。為替が大きく動いたタイミングでの取材でしたが今後も報道番組等において露出増加を目指してまいります。

Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境に対する、企業としての取り組み（環境負荷の低減）の実践と継続

ペーパーレス化の推進・森林認証用紙の使用【森林資源の保護】



当社グループでは、会議時のペーパーレス化（タブレット端末・ノートPC・共有モニターを用いた電子会議、インターネット会議の促進）、契約書の電子化によるペーパーレス化、業務作業の自動化ロボット対応化（RPAの導入による業務効率化）や、森林認証制度PEFC認証のコピー用紙、FSC®認証の名刺を使用することにより、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減（CO2削減）に貢献しています。

消費電力（使用量）の削減・抑制【省エネルギーの推進】



当社グループの主軸事業である金融商品取引事業は、顧客がインターネットを通じて取引を行うサービス形態であり、インターネット関連設備やシステム開発・保守運用のためのパソコン機器等、安定的なサービス提供やシステム稼働のために、電力を多く消費する事業構造となっています。消費電力の削減を通じた省エネルギー化を推進するため、オフィス内においても、積極的に電力消費（エネルギー使用量）の削減、省エネPC機器への順次リプレイスに取り組んでいます。

再生可能エネルギー由来電力の使用



これまで当社本社が入居していた住友東新橋ビル3号館における使用電力につきまして、2022年9月に再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。また今春本社を移転しました恵比寿ガーデンプレイスでは入居する全てのテナントが再生可能エネルギー由来の電力の提供を受けており、当社も再生可能エネルギー由来電力を使用しております。

グループ会社のサステナビリティの取り組みの詳細についてはこちら

トレーダーズ証券



FleGrowth



社会的な課題の解決のために

金融リテラシー向上への取り組み①



若年層・学生・女性等幅広い層の金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、都内小学校にて特別授業のゲストティーチャーとして 트레이ダーズ証券の為替ディーラーが講師として参加いたしました。小学生を対象とした金融リテラシー向上の取り組みであり、円高・円安といった外国為替動向の意味、金利と投資行動の関係など、難しい金融の内容について少しでも理解してもらえるようにクイズ等を織り交ぜわかりやすく説明を行いました。学生や若年層に向けた金融リテラシー向上の取り組みも注力してまいります。



金融リテラシー向上への取り組み②



若年層・学生・女性等幅広い層の金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、「きんゆう女子。」主催の勉強会にトレーダーズ証券の為替ディーラーを講師として派遣するなどの取り組みを進めており、また、書籍出版・寄稿・SNSによる情報発信等、多様な活動も実施しています。

こどものみらい古本募金



内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」に日本証券業協会が主導して証券業界全体で取り組んでいる中、子どもの貧困をなくすとの趣旨に賛同し本活動へ参加しております。寄付金は子ども食堂や学習支援を行うNPOへの支援に活用されます。

コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

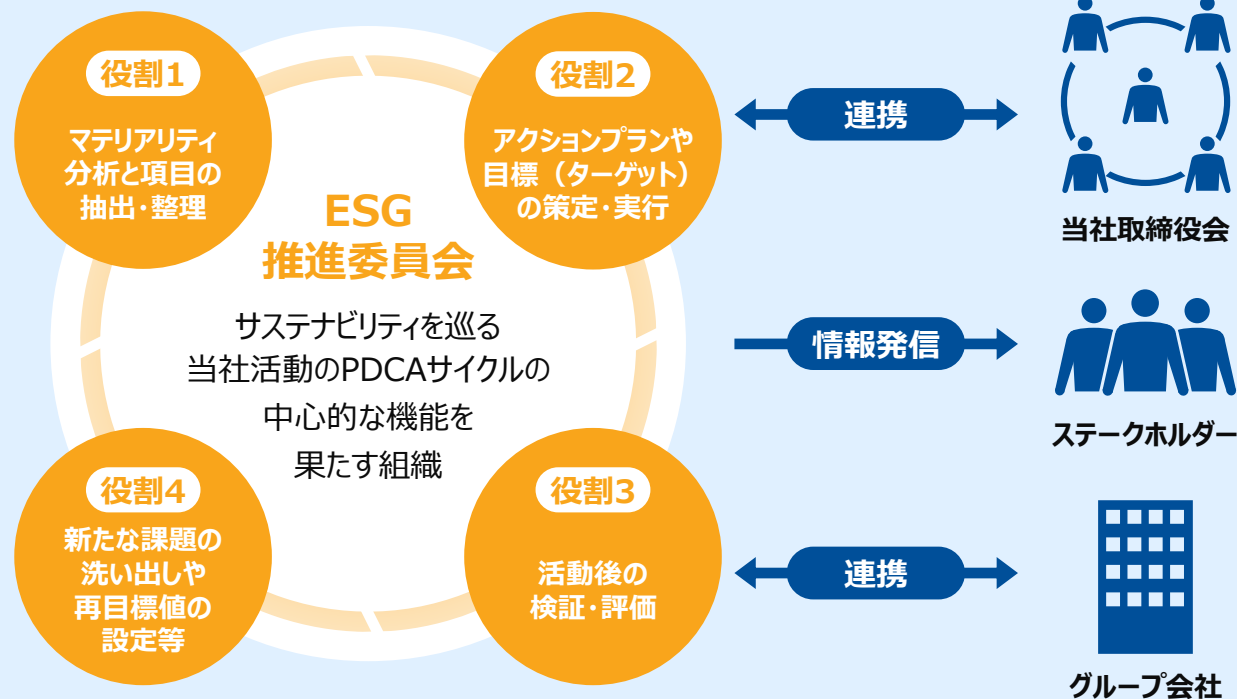
当社は、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、実効性あるコーポレート・ガバナンスのあり方を不断に追求し、構築・強化を進めています。当社コーポレートガバナンスの詳細、コーポレートガバナンスコードへの取り組み内容についてはWebサイトでご覧いただけます。



当社グループの マテリアリティ推進体制

当社グループでは、ESG推進委員会に各事業会社の代表取締役も含めて、グループ全体でサステナビリティ経営を推進（関連する事業や取り組みを実践）しています。

今後も事業活動を通じた社会的課題の解決や新たな価値創造を目標に、社会情勢や事業環境等を見極めながら、マテリアリティに沿った取り組み（評価を含む）をグループ全社で（部門横断的に）進めてまいります。



コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレートガバナンス・コード」全原則のComply状況

① 2021年12月末時点（JASDAQ市場）

② 2022年6月時点（スタンダード市場）

③ 2023年6月末現在※（スタンダード市場）

※直近のCG報告書提出時点



市場区分再編による移行前後で、Comply項目が大幅に増加！

（2022年4月：スタンダード市場に移行完了）

スタンダード市場移行後も、継続して、Comply項目への改善強化！

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

取締役会の構成に必要なスキルマトリックスの選定と公表

ポイント2！

取締役会の機能発揮のため、実効性評価の実施と結果の開示

ポイント3！

役員の報酬等の決定方針の透明化と株主目線に即した報酬体系の導入

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

自社の株主総会における機関投資家に対する議決権行使を可能とする環境作りを積極的に推進し、海外投資家の比率等も高めることが、中長期的な企業価値向上に資すると考え、2023年6月開催の定時株主総会より、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利用を開始。

ポイント2！

招集通知の英訳版を当社ホームページ、東京証券取引所のウェブサイト及び機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームに開示。2023年3月期第2四半期より決算短信の英語での開示・提供を実施

ポイント3！

当社グループの後継者要件（サクセッションプランとしての必要条件）を整備し、取締役等に対するトレーニングの実施方針に準じた内容の育成プロセスを当社サクセッションプランとして策定

今後も、引き続きComply項目を増やすべく、グループ内部管理体制の強化とコーポレートガバナンスの充実化に取り組んでまいります！

金融を、もっと面白く。



MISSION

ミッション

新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

金融を、もっと面白く。

traders

VALUE

バリュー

トレーダーズ
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、
変革にチャレンジし続ける

トレーダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。